

環境活動報告書（2021年度版）

2023年2月6日
セイキ工業株式会社

埼玉県SDGsパートナー登録

「誰ひとり取り残さない世界」の実現に向けてSDGsに自ら取り組むとともに、県と連携して社会・環境問題に取り組む制度に登録しました。その中でも環境面の取り組みとして二酸化炭素排出量を2020年度の数値から42%削減することを目標に掲げ取り組んでまいります。

ジェンダー平等を実現するために女性管理職を2030年までに2名起用するとともに、社会貢献活動の一環として地域の美化活動を年6回行っていきます。この他にも2030年までの多様な問題解決に向けて様々な活動に取り組んでいきます。



※「埼玉県SDGsパートナー」は、SDGsに自ら取り組むとともに、その実施内容を公表する埼玉県内企業・団体等を県が登録する制度です。

冷暖房の効率化改善

冷暖房をより効率よくするために食堂の窓に断熱効果のあるスクリーンを設置しました。この断熱スクリーンはハニカム構造になっており、二重の空気の層を作り出しています。空気の熱伝導率は低いためより高い断熱効果があり、冬の冷え込み、夏の暑さを防ぐことでエアコンの設定温度を適切にし消費電力を削減します。



また、空調使用頻度が高い事務所内においては、さらに気密性の高い断熱内窓を設置する事で、冷暖房の効率化改善を行っております。



照明のLED化推進

照明を蛍光灯からLEDに変えることで省エネ効果が見込まれています。消費電力量で蛍光灯の約30%、寿命も蛍光灯の約5倍になります。当社でも消費電力の削減に向けて照明のLED化を進めております。2021年度末時点で事務所と射出工場の照明をLEDに交換し当社の全照明1181灯のうち565灯をLED照明(約49%)に交換しました。2022年度には107灯(約10%)交換を計画。



エアコンの更新

老朽化した加工所のエアコンを省エネタイプに更新しました。以前と比較し冷暖房の効率が上がり消費電力を冷房で約34%、暖房で約51%削減することが出来ました。今後も順次省エネ高効率タイプへ更新してまいります。



2022年度の活動予定について

- ・事務所および食堂内のエアコンを省エネタイプに更新
- ・工場内の照明のLED交換の継続実施
- ・工場内エアリー漏れ改善による、コンプレッサーの効率化等

CO₂排出実績報告

単位：tCO₂

	2020年度	2021年度
SCOPE1	74.1	71.5
SCOPE2	3245.7	3274.5
合計	3319.8	3346.0

基準年(2020年度)に対し、0.79%の増加となりました。当社のCO₂排出量の大半は照明、冷暖房設備、製造設備による電力使用であるSCOPE2が占めており、省エネ設備への更新、電気使用量低減に向けた活動を継続していく事で排出量の削減を行って参ります。